

① 採用した労働者に占める女性労働者の割合（令和7年度）

<職種>	<男性>	<女性>
教員（常勤）	81.2%	18.8%
教員（非常勤）	69.6%	30.4%
職員（常勤）	27.3%	72.7%
職員（非常勤）	27.9%	72.1%
全体	43.2%	56.8%

- ・職員（非常勤）の採用数が多く、うち女性が約72%を占めるため、全体としては女性の採用割合が多くなっている。

② 男女の平均勤続年数の差異（令和7年4月時点）

※採用日～令和7年4月1日までの年数

※期間の定めのない労働者（任期付き常勤教員除く）

男性 15.15年    女性 11.51年    差異 1.32倍

- ・男性の勤続年数20年以上の割合が多くなっているため、全体として男性の勤続年数の方が長くなっている。

③ 男女の賃金の差異（令和7年度）

区分	男女の賃金の差異 (男性の賃金に対する女性の賃金の割合)
全労働者	52.17%
正職員	77.16%
パート・有期社員	85.48%

- ・「パート・有期社員」間ではそれほど大きな差異はないが、「正社員」間では女性の新規採用者が多いため、差異が表れている。「全労働者」で見た場合には、「パート・有期社員」の女性人数が多いため、大きな賃金の差異として表れている。

④ 育児休業等の取得割合

令和7年度における男性労働者の育児休業等の取得割合：81.8%

- ・特に教員は取得しにくい状況ではあるが、その中でも積極的に取得されたため、上記のと通りの取得率となっている。

⑤ 女性管理職の比率

令和7年4月1日時点での事務職員及び技術職員の女性管理職比率：30.8%

- ・勤続年数の長い女性が男性よりも少ないため、上記のと通りの比率となっている。